

言葉を越え心で交流

〜ハンリム大学生ホームステイ〜

7月12日（火）から22日（金）までの11日間、韓国江原道春川市にあるハンリム大学日本学科の学生10名が南部町でホームステイを行いました。

町内の10家庭にホストファミリーとして参加いただき、学生を家族の一員として温かく迎えていただきました。学生たちは、日本の家庭で生活することで日本の生活習慣等を体験し、ホストファミリーの皆さんは、学生から韓国の文化を学びました。また期間中、学生たちは陶芸・書道・茶道・華道の日本文化研修、会見小学校・つくし保育園・鳥取環境大学との交流、いきいきサロンへの参加、そば打ち・押し花体験など町内外に出かけ活動を行いました。学生たちは初めての経験に、皆笑顔で意欲的に取り組み、日本の文化を学び、また町民の皆さんと広く交流を図りました。

今後の交流を約束し、別れを惜しみつつ帰国しました。



日本の侘び、さびを学ぶ



どっちが勝つか

まちの話題



チョン ミンジ

「ぼっちぼっち。晩になりました」方言を教えてもらった。今後も交流を続けたい。



ズ テ ゴン

旅行ではできない貴重な経験をたくさんさせてもらった。特に小学生との交流とか良かった。

熱い風が駆け抜けた

〜皆生トライアスロン大会〜

今年で第25回の皆生トライアスロン大会が7月17日（日）に大会最多の773名の参加で行われ、南部町でも約170名がボランティアに参加しました。

自転車競技の通過する南部町には午前8時3分にトップの選手が到着し、午前10時すぎに全選手が通過しました。

町内2カ所に設置されたエイドステーションでは、ボランティアのみなさんがタイミングよく水やバナナを手渡していました。

沿道からは町内出身者や知人を見つけては盛んに声援が送られました。



この旗が見えるかな



選手も一休みして腹ごしらえ

環境教育に役立てて

～図書券寄贈～

女性活動団体「夢つくる女性の会」は、会見地区の保育園、小学校、中学校に図書券を寄贈しました。この会は平成6年に結成され、「子供たちに美しい地球を引継ごう」を合言葉に、地球資源を守るために活動をしてきました。会見町まつりなどでその啓発を続けてきましたが、この間に得た収益金の一部を今回贈りました。会見小学校の図書委員会の小谷真由子さんは、「意思を生かし大切に使用してもらいます。」と話しました。



会見小学校の図書委員に図書券を手渡す女性の会々員

見とこ・知つとこ

日々好日

みんなの南部

新しい力をまちづくりに

～町長と意見交換～

南部町に転入された吉村禎二さん（落合）と桐原真希さん（鴨部）のお二人とまちづくりについて懇談を行いました。吉村さんは大手ゴム製造会社を退職され、平成12年に転入。桐原さんは平成15年に転入。自然観察指導員として活躍中です。

お二人とも仕事と私生活の違いはありますが全国を見てこられ、経験されてきた新たな目線でのまちづくりに意見をいただきました。

「南部町は自然にぜひいたくな町です。自然を生かした町づくりを。」という提案に対し、坂本町長は「その豊かさを町民に発信して行きたい。今後とも新鮮な発想をいただきたい。」とこたえました。



子育てやホームページのことなど幅広い意見をいただきました

星空のもと気持ちを一いつに

～ナイトウォーク～

7月23日、西伯小学校の4年生から6年生までの43名が参加してナイトウォークを行いました。

午後9時に、さいはく公民館を出発し、馬佐良、金田を通り、途中休憩しながら午前2時30分までには全員がふるさと交流センターに到着しました。その後、母塚山頂上で日の出を見ました。



歩いた疲れもふきとびました

参加した子どもたちは単に15kmを自分のペースで歩くのではなく、足が痛くなったりした仲間を励まし、助け合いながら参加者全員の完歩は、今後の自信になったと思います。